

科目名	医療経営管理学事例研究				担当教員名	田中 伸、宇田 淳								
該当DP	3	単位数	1単位	選択必修	配当年次	2年次・第3セメスター(通期)								
曜日・時限	水曜日・6限目			教室	オンライン授業									
授業概要	この科目は、受講者がマネジメント分野における研究や実践者として必要とされる理論と実践の間のギャップを埋めるための科目です。具体的には、1) 病院の財務分析を通じた病院マネジメント、2) 経営戦略、人的資源管理、マーケティングなどの問題解決、3) 現場における様々なコミュニケーション問題への対処法、などの事例をもとにディスカッションやロールプレイングをすることによって、マネジメントの能力を高めるようにする。													
到達目標														
1) 病院経営が抱える課題についてデータを分析し、解決するためのプロセスを説明することができる。 2) マネジメントの知識を実際の病院の現場で用いながら、医療組織の管理運営の仕方を理解し、説明することができる。 3) 病院経営に欠かせない情報と実際の管理状態を理解し、説明することができる。														
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法								
1	4/10	事例研究の実際と経営管理の概要(田中)	事例研究の概要と医療業界の現状と問題提起を行い、これについて学習し、議論する。[グループディスカッション]			○								
2	4/17	経営管理の前提であるマクロ経済学の展開(田中)	経営管理の主要な理論、伝統的理論、とその背景にあるマクロ経済学について、議論する。[グループディスカッション]			○								
3	4/24	医療機関の経営の数値化(田中)	医療機関の経営数値を表す財務会計について学習し、医療機関の経営状態について議論する。[グループディスカッション]			○								
4	5/8	医療機関の経営(宇田)	医療機関の経営特性について学習し、医療機関経営の課題について議論する。[グループディスカッション]			○								
5	5/15	医療マーケティング(宇田)	産業界で培われてきたマーケティング理論を学習し、医療経営における適用のあり方について議論する。[グループディスカッション]			○								
6	5/22	医業経営戦略(宇田)	医業経営戦略の基本プロセスについて学習し、PPM分析、SWOT分析、ベンチマークングなどの分析手法と実務について議論する。[グループディスカッション]			○								
7	5/29	人材マネジメント人事考課(田中)	人材のマネジメントに役立つ人事考課の利用法を事例をもとに学ぶ。[グループディスカッション]			○								
8	6/5	日本の医療提供環境の特徴と制度・政策(田中)	国際的な視点から日本の医療機関を取り巻く環境と問題点を取り上げ、その解決の方策を考える。[グループディスカッション]			○								
9	6/19	人件費の立て直しとガバナンス(田中)	病院経営に最も大きく影響する人件費の管理及び病院ガバナンスについて事例に基づき議論する。[グループディスカッション]			○								
10	6/26	医業経営環境分析(宇田)	病院を取り巻く外部環境・内部環境を的確に分析し、事例を基に経営環境について議論する。[グループディスカッション]			○								
11	7/3	病院業務改善(宇田)	病院の業務プロセスの問題点を検討し、業務の効率化・運用について、実例を用いながら議論する。[グループディスカッション]			○								
12	7/10	コンフリクトマネジメント(宇田)	チームに起きた対立や危機の構造を明らかにするとともに、その解決方法の基礎を学び、組織の成長を促す仕組みを考える。[グループディスカッション]			○								
13	7/17	病院の事例検討(田中、宇田)	グループワークとして、病院を選び、病院の経営変革をこれまで習った知識を使って議論し、発表につなげる。[グループワーク]			○								
14	7/24	病院の立て直し事例を検討する(田中、宇田)	病院のガバナンスを病院立て直しの事例を実際の病院データに基づき議論し、発表につなげる。[グループワーク]			○								
15	7/31	経営者の役割と病院事例(田中、宇田)	グループワークでの発表を通じて、病院のトップマネジメントを議論し理解する。[グループディスカッション]			○								
キーワード		マネジメント、人的資源、コミュニケーション		履修条件	なし									
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。												
	参考書(任意購入)	特に指定しない												
成績評価方法(%) [評価のポイント]		レポート(100%) [授業内で出された課題を深く理解しているかを評価のポイントにします。]												
授業時間外で必要な学修		事例を説明するので、その都度出た疑問は必ずメールで教員に確認していくこと。												
学生へのメッセージ		実務に即した事例をもとにマネジメント力を高めましょう。												

※ 授業の日程については変更する場合があります。